

夜間休日も脳梗塞の血栓回収療法を実施 脊椎・脊髄疾患などの手術も新たに対応



社会医療法人医仁会
中村記念南病院

院長

岡 亨治

当院は日曜祝日を問わず、24時間365日、いつでも脳疾患の救急患者さんの受け入れを行っています。急性期の脳梗塞は、発症から4.5時間以内であれば、t-PAの静注療法を考えますが、治療効果が不十分な場合や4.5時間を越えても治療効果が望めるケースでは、カテーテルを用いる血栓回収療法が有効となります。同治療は日中、夜間、休日を問わず常時複数名の脳血管内治療学会専門医が対応。本院の中村記念病院との連携もこれまで通り維持しています。

当院は現在、水頭症手術や脳動脈瘤根治手術、脳内血腫除去術の他、脳腫瘍摘出術、頭蓋内の血管バイパス術、脊椎・脊髄疾患、顔面痙攣、三叉神経痛など全身麻酔を要する多種の手術にも対応しています。急性期治療後には回復期リハビリテーション病棟で集中的なリハビリを受けることができます。同病棟は最も高い施設基準を算定し、専任の常勤医など人員配置等の充実に努めながら、十分なリハビリが受けられる環境を整えています。また、当院は日本脳卒中学会から「一次脳卒中センター（プライマリ・ストローク・センター）」の認定を受けており、今後も地域への貢献を目指していく所存です。